

平成27年12月：第396回 大野市議会定例会

一般質問 12月7日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
松田（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 大野市小中学校再編計画（素案）関連について</p> <p>大野市小中学校再編計画は素案の段階から計画案の策定の段階に差し掛かっている中、今後の大野市にとって重要な案件であるにもかかわらず、現在においては市民全体に理解が得られているとは言えない状況である。</p> <p>そこで、大野市小中学校再編計画素案関連について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各地域・団体から出されている意見書や要望書等に対してどのように対応し答えていくのか。 上庄地区の意見書と大野市PTA連合会の意見要望書について。和泉地区の地域づくり計画について（和泉自治会） ○ 素案の「再編後の学校教育のビジョン」で（7）小中高連携教育や学制改革を見通した、小中一貫教育「結の故郷」教育の推進とあるが、実施していくのか。具体的にどのようなことか。 ○ 統合される地域の子育て世帯（人口）が故郷を離れ、大野市街地または他の自治体に移動されるケースがあると聞いているが、地域活性化や地域創生と反対局面が起きており、今後も続く可能性があると考えられ、重大局面と認識するがどのように対処されるか。
		<p>2 越前おおの型農業の推進について</p> <p>先般、米国アトランタで開催されたT P P閣僚会合において、T P P協定が大筋合意に至り、米については、当初3年は米国から5万ト、豪州から6,000ト、段階的に増やし13年目以降は米国から7万ト、豪州から8,400ト輸入することに決定するなど、とりわけ米については18年度の減反廃止と重なり非常に厳しい状況になることが懸念される。</p> <p>そこで、越前おおの型農業の推進について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業分野のT P Pにおける大野市の影響についてどのように捉えて、基幹産業である農業をどのように推進していくのか。 ○ 農産物の輸出などグローバルな視点で越前おおの型農業をどのように捉えているのか。（攻めの農業） ○ 農林産物の販売強化をさらに促進させていくために、今後、一般財団法人農林楽舎の組織を販売重視の組織に変えていくことを考えないか。 ○ 奥越地区おいしいお米コンテスト等の狙いと、今後、どのように進めていくのか。

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 医療の充実・出産できる医療体制・子ども医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奥越地域の中核病院 福井勝山総合病院の診療内容の充実を県に要望できないのか。 ○ 身近で出産できるように、上記病院に産科医の要請はできないのか。 ○ 出産に伴う妊婦健康診査に対する助成及び里帰り出産に伴う県外における「妊婦健診」「乳児健診」の費用助成はできないのか。 ○ 出産祝い金は出せないのか。 ○ 子ども医療費窓口無料化を正式に県へ要請できないのか。 ○ 子どものインフルエンザ予防接種の無料化若しくは助成はできないのか。
		<p>2 介護サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護のために離職する人は市内で何人いるのか。何か対策をしているのか。 ○ 介護虐待は市内で何件起きているのか。何か対策をしているのか。 ○ 高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化若しくは助成はできないか。 ○ 特養老人ホームに入所していて、病院に入院する必要がある場合、3カ月以内であれば再びその施設に戻ることができる。しかし、戻れなかったという事例も聞いているが、大野市内ではそのようなことは起こっていないか。 ○ 特養老人ホームに入所中にリハビリ等で要介護2に回復した。ところが、入所に伴い今まで住んでいた住居を引き払って帰る家のない場合の対応は。 ○ サービス付高齢者向け住宅と特別養護老人ホームの違い、メリットとデメリットは。 ○ サービス付高齢者向け住宅と特別養護老人ホームの増設の（予定）計画は。 ○ 大野市の特別養護老人ホームの待機人数、過去5年間の推移は。介護度合による平均待機年月は。介護度合以外に関連してくる住居や家庭環境によって、入所が早くなる判断基準は。 ○ 厚生労働省は地域包括ケアシステムを進めているが問題点はないのか。メリットとデメリットは。 ○ 介護労働安定センターが実施した介護労働実態調査の結果によると、1年間の離職率の状況は16.5割で、採用率の状況は20.6割であった。市はこの問題を把握しているか。市内の施設から不満の声は上がっていないのか。何か取り組みを考えているのか。

一般質問

12月7日（月） 午後

質問者	質問方式	質問概要
宮澤（無党派）	一括質問・答弁方式	<p>1 高齢者や女性の雇用対策について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市の高齢者雇用状況はどのようになっているのか。 ○ 高齢者の雇用対策の考え方はどうか。また将来を見据えた対策はどうか。 ○ 「高齢者雇用開発特別奨励金」や「高齢者雇用安定助成金」制度の利用状況は。 ○ 女性の雇用についての考え方、働きやすい環境とはどのような環境なのか。
		<p>2 防災対策について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の活動状況はどのようなものか。 ○ 災害発生時に電気、ガス、水道等、生活に必ず必要となる体制づくりはどうか。 ○ 公助、共助についての考えはどうか。共助においては日頃のコミュニティが必要だが、啓発はどうか。 ○ 障害者対策はどうか。 ○ 減災についての考え方は。 ○ 液状化現象の調査、研究については。

質問者	質問方式	質問概要
廣田（立志会）	一問一答方式	<p>1 中部縦貫自動車道について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区間最長となる荒島第二トンネル工事の平成 28 年度着手に向けた予算確保の状況はどうか。 ○ 平成 34 年度までの大野油坂道路全線開通に向けた課題と対策について聞きたい。 ○ 企業誘致に向け工業団地の現状と、今後の対応について聞きたい。
		<p>2 福井しあわせ元気国体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車ロードレースのコース及び設備・路面等の補修について、本大会・プレ大会に向けた整備状況と予算配分について聞きたい。 ○ カヌー競技のコースは河川等の工事を必要とするのか。工事を必要とする場合、国体終了後もカヌー競技を実施していくのか。 ○ ロードレースは1周 35 ｷﾛﾓｰﾀﾞ、カヌー競技は最長 1.5 ｷﾛﾓｰﾀﾞと今大会 1、2 位の会場規模となるが、競技者の安全確保やコース誘導にあたる人員の数とボランティア等の確保について聞きたい。
		<p>3 介護離職ゼロの実現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市における入所待機者の現状と、在宅介護における介護離職者の現状はどうか。 ○ 現状の介護サービス下での平成 32 年度の入所待機者数と、在宅介護における介護離職者の予測について聞きたい。 ○ 介護職員の人材について、現状の介護サービス下での充足状況及び人材確保に関する取り組みについて聞きたい。
島口（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の3期目就任以来これまでの市政運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで足かけ2年の市政運営についてどのように評価し、今後、どのように取り組んでいくのか。 ○ 現在、平成 28 年度当初予算の編成作業に入っていることと思うが、予算編成の基本的な方針はどのようなものか。
		<p>2 大野市の農業振興施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ TPPが大筋合意に達した今、今後の大野市の農業振興をどのように進めていくのか。
		<p>3 重点道の駅「（仮称）結の故郷」の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点道の駅「（仮称）結の故郷」整備の取り組みについて、これまでの経過と今後の予定についてお尋ねする。

一般質問

12月8日(火) 午前

質問者	質問方式	質問概要
堀田(立志会)	一括質問・答弁方式	<p>1 来年度に向けての地方創生の取り組みについて</p> <hr/> <p>○ 今回のパブリックコメント実施の結果は、「大野市人口ビジョン」は提出者・意見数が1人・1件で、「大野市総合戦略」は提出者・意見数が1人・2件で、「大野市総合計画後期基本計画」は提出者・意見数が4人・7件という結果だった。</p> <p>この結果をどのように考えるのか。</p> <p>○ 平成28年度の新型交付金について、大野市では現時点で新型交付金の対象事業として、どのような事業を考えているのか。</p>
		<p>2 小中学校再編計画(素案)について</p> <hr/> <p>○ 国に提出した大野市の「人口ビジョン」では2040年の大野市の将来出生数を5年間合計で1,358人と推定されている。</p> <p>また、小・中学校の再編計画の素案では、2040年に出生数を5年間合計で590人との数値で策定されているが、「人口ビジョン」と小・中学校の再編計画(案)との整合性についての見解は。</p> <p>○ 小中学校再編計画推進のタイムスケジュールは。また、各地区に出向き、地域の皆さまに説明をされるということだが、どの時点で出向かれるのか。さらに各地区から提出された意見書に対して、提出者に回答をされるのか。</p>
		<p>3 18歳選挙権に向けた主権者教育等について</p> <hr/> <p>○ 公職選挙法等の改正による選挙権年齢等の18歳への引き下げについて、評価も含め見解は。</p> <p>○ 大野市における10~20代の政治や選挙、社会参加などに関する意識は、どうであるのか。全国や他自治体と比べての特徴は。</p> <p>○ 大野市においては、今後、主権者教育にどのように取り組んでいかれるのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
藤堂（公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市特用林産物生産・加工施設整備工事等について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特用林産物生産・加工施設整備工事について、今回変更に至った経緯を聞きたい。 ○ 当初ボーリング調査が2カ所では現地（敷地面積8,540平方メートル、建築面積2,693平方メートル）を考えた場合、測量調査、基本設計等に問題があるのではないか聞きたい。 ○ 市が発注した平成25年度以降の主な事業における請負工事実績、変更額、変更回数を聞きたい。 ○ 市が発注した大型プロジェクト事業について、請負契約の変更が常態化している。その原因は何か聞きたい。 ○ 請負契約の変更をどのように捉えているのか、また今後の対応をどのようにするのか聞きたい。 ○ 議会に対する説明責任をどのように考えているのか聞きたい。
		<p>2 地域再生計画の実践型地域雇用創造事業について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実践型地域雇用創造事業について、詳細な事業内容等を聞きたい。 ○ 当事業を実践することによる市の効果をどのように捉えているのか聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p>梅林 (創生おおの)</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 越前おおの湧水文化再生計画について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標達成に向けた短期における事業の成果等について <ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透枘などの普及の成果は。 ・量水器、水道の節水器の設置促進の成果は。 ・真名川の河川維持流量の増量に向けての取り組み状況と、その達成度は。 ・真名川の河川維持流量の増量を前提とした、渇水・低水時における発電取水量のこれまでの経緯は。 ・水田への通年貯水や真名川の川床粗荒らし・伐木等は、地下水涵養にどのような効果があったのか。 ○ これからの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・積雪期の地下水節約への取り組みは。 ・真名川の発電水利権更新時までにはできることは何か。 ・農業用水、非灌漑期における水利への取り組みは。 ・大野市地下水保全条例の見直し、若しくは新条例策定に向けての取り組みは。
<p>榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 TPP大筋合意について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市の自治体から見たTPP大筋合意の認識について、TPPはこれからが正念場だと思うがどうか。 ○ TPPの本質的側面について、企業利益優先のルール押し付け、ISDS条項、医薬品の特許の保護期間をめぐる対立をどう考えるか。 ○ 農産物の大幅譲歩の実態についてどう考えるか。 ○ 食の安全の問題(食の安全は守られているのか)、遺伝子組み換え、成長ホルモン、ラクトパミン、防カビ剤・防腐剤をどう考えるか。 ○ 日本農業を競争にさらして強くし輸出産業にする物語について <ul style="list-style-type: none"> ・日本は過保護で衰退、欧米は競争で発展。実態はどうか。 ・「農業鎖国は許されない」は本当か。 ・生産者の取り分は「不当に」低いと思うがどうか。 ・「地方創生」「農業所得倍増」とは。 ・政治はアメリカ寄りだが、農政はアメリカの良いところになぜ学ばないのかと考えるがどうか。 <p>2 マイナンバーについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ マイナンバー制度について説明願いたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体から見たメリット、デメリット、利便性、危険性について。 ・住基ネットは自治事務だが、マイナンバーは法定受託事務になった理由は。 ・住民から見たメリット、デメリット、利便性、危険性について。

質問者	質問方式	質問概要
高田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 当市の住宅事情について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当市の市営住宅の現状について、入居状況、建築経過年数等はいかなものか。 ○ 雇用促進住宅について、現在はどのようなになっているのか。 ○ 今後の市営住宅についての考え方は。
		<p>2 当市の空き家について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市空き家等の適正管理に関する条例及び空き家対策特別措置法に関する取り組みは。 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家等の現状はいかなものか。 ・空き家等の把握の方法は。（所有者の把握の手段） ・条例にある実態調査等の現況はいかなものか。 ・活用空き家はどのぐらいか。 ・特定空き家等の判断の基準は。 ・税制上の措置は。 ○ 今後の空き家対策についての考え方は。